

# 文科省 大臣官房 審議官が本学視察

## 美術文化学部実習棟など熱心に



石田学長(右)の案内で学内の施設を視察する  
布村審議官(中央)ら = 6号館



栄養士養成施設の視察 = 5号館

文部科学省の布村幸彦大臣官房審議官(初等中等教育局担当)が八月三十一日、金沢学院大学を訪れ、旧知の石田寛人学長らと懇談するとともに、学内の施設を視察しました。

布村審議官は、金沢大学で開かれた教員養成に関する懇談会に出席するため石川県入りし、学生時代に過ごした寮の同窓である石田学長を訪ねて本学に立ち寄りました。石田学長と金大附属高校の同級生である林勇二郎金大学長が同行しました。

学長室で、宮本匡章学園長、上山夏樹副理事長を交えて本学の沿革と将来像などについて懇談したあと、一行は栄養士養成施設、美術文化学部実習施設などを視察しました。

漆芸の実習室では、碗木地を手にした布村審議官が「仕上げまで何回くらい重ねて塗るのか」と質問するなど熱心に見学しました。

### 小松教授がことばの力と怖さを講義



教授写真

「ことばによる様々な表現法を学ぼう」をテーマに講義しました。小松教授は「言葉には想像力が不足すると誤解を生む。語彙を増やす努力が大切」と強調しました。また、順序を逆にすると意味が反対になる文例を挙げ、言葉の持つ力と怖さを説きました。

### 水洞助教授が志賀直哉の文学を解説



金沢学院大学文学部公開講座「小説の神様、大いなる旅」は九月四日、高岡市の高岡文化ホールで開か

れ、聴講者は志賀直哉の文学について、「旅」をキーワードに理解を深めました。水洞幸夫助教授「写真上」が、転居を繰り返した志賀直哉の生涯を紹介したあと、「城の崎にて」を執筆する前と執筆後の作品を対比し、「志賀の旅は、自分の人生に影響する父親「引力」との関係を変えていくものであった」と述べました。

### 新しい情報教育を探る

#### 本学で教育システム情報学会30周年大会

教育システム情報学会の三十周年記念全国大会は八月二十五日から三日間、金沢学院大学のキャンパスを会場に開かれました。全国から研究者、教員、企業の人材教育担当者ら延べ千人以上が参加し、「情報社会における知の共有」をテーマ

の演題で講話しました。岡本学会会長は、教育システム情報学の学問としての専門性、体系、共通のコンセプトを解説しました。引き続き三十周年記念対談で岡本学会会長と坂元昂教育工学振興会長(学会名誉会員)が対談しました。記念全国大会の事務局は本学の樋川和伸教授研究室に置かれ、基礎教育機構職員らが後押ししました。



教育システム情報学会の三十周年記念対談講座

#### 新潟、高岡で文学部公開講座

### 榎木教授は宗教と遠藤周作の文学で



文学部公開講座「宗教の交差点 遠藤周作の文学」は八月七日、新潟市の新潟

会館で開かれ、十六人が聴講しました。榎木裕教授「写真左」がクリスマスチャンである遠藤氏の作品を題材に、キリスト教と浄土教の精神性の違いなどを解説しました。聴講者からは、「西洋キリスト教の厳しさを知った」などの感想が聞かれました。

発行・広報室